

の希望と決意

- ◇ あけましておめでとうございませう。
- ◇ 新たな希望と決意をもって、新春を迎えたことと存じます。
- ◇ 「広報よこごし」を発行してからはじめての正月を迎えました。
- ◇ その間、広く村民のみなさんから愛読されているところでありますが、今後も広報技術を高め、斬新な広報紙にしたいと努力する所存であります。
- ◇ さて、輝く一九七三年を迎えるにあたって、村民各層から新年の所感を公募してまいりました。
- ◇ 幸いにして、多数の投稿をいただきました。
- ◇ 厚くお礼申し上げます。

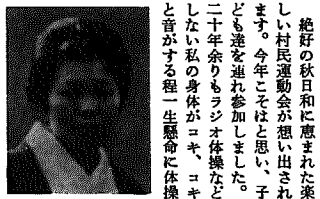
楽しい老後の生活を送りたい

木津 今井 芳美

「うんと楽しい事は、仲々志もわかない。好きな旅行を有と目下は、珍宝を求めたか、ポロイ金儲けもなない儘に終わった。所で星の廻り、芽の出ない時は誰にもある様だ。こんな親爺にも健康が良く売れた。家族も皆報がやっ来たのかも知れない。公民館の高令者大学へ欠席者の代理として、入校を許され、月々に多大の感動を身に付けた。例えば名士の講義(其の時々に変わる)楽焼きの

20年ぶりにラジオ体操

小杉 通 藤 妙子



絶好の秋日和に恵まれた楽しい村民運動会が思い出されます。今年こそはと思い、子ども達を連れ参加しました。二十年余りラジオ体操もしない私の身体がコキ、コキと音がする程一生懸命に体操

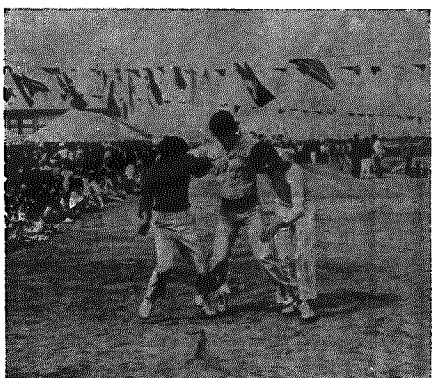
青年会で多くの仲間を得た

小杉 小舟 芳子

仕事を始めた頃の事、職場と家の往復で何が物足りなさを感じていた時、青年会に入らないうれしさを味わった。青年会に入ると、いろいろな言葉が聞くと、古くさい、酒ばかり飲



をやり、大人も、子供も、心になって走り、跳び笑ひ、そして踊るなど、本当に楽しかった事が、つい昨日のよう



村民大運動会

新しい未来を期待しよう

沢藤 別所 朝子

風が雨戸を揺わせている。生まれて何回目かの十二月が今年もやってきました。知らぬ間に月日は過ぎていく。

喜びをわかちあつてくれた母校の百周年記念

二本木 仲村 スイ子

以前から話のもちあがっていた小学校統合がいよいよ本決まりになったようである。我母校である木津小も百年の長い歴史を閉じようとして

この村の益になるからであるが、懐かしい思い出のつまった母校が消えしめるのはやはり寂しい。

勉強と体育を第一に

沢藤 小三年 清野 秀夫

ぼくは、去年はよい年でした。どうしてよい年だというかと、勉強もよくできたし、運動もよくできたし、村へ行ったからです。でも去年がわるい年だった。ぼくは、反省

中学校の卒業式の日、そして、高校入試を突破した日、喜びをわかちあつてくれた母校の方々、その有難さは今、

酒



正月早々、酒の宣伝はないが、日本人にとって、酒は心のふるさとみたいなもの。うれしいのみ、悲しいのみ、年中行事にもかかせないものである。酒は日本全国おおよそ三千八百の酒造会社があるといわれている。酒は日本の風土の中で、みがきこまれた伝統の味で、きれいな水と米と気候とによつて、きめこまかな味(甘、辛、渋、苦、酸の五味)がつくりだされるものである。

明るく合理的な結婚式は

公民館で

